事例No.	2031
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	高知県南国市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	医療・福祉・健康

事例内容・タイトル

マイナンバーカードを利用した健康ポータルでの電子お薬手帳機能

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

51 マイナンバーカードを利用した健康ポータルでの電子お薬手帳機能【高知県南国市】

事業の概要

○ 南国市は、住民の健康管理、災害等による医療情報の滅失リスクの回避、健康関連情報の提供等に資するために、インターネットとテレビを利用した「南国市健康ポータル」を運用している。

○ 健康ポータルの利用者が、自宅のテレビに専用機器を取り付け、マイナンバーカードを読み込むことにより、健康ポータル上で「電子お薬手帳機能」を閲覧することが可能になる。これにより、処方された薬の情報の登録や履歴の確認をすることができる。また、利用者は健康ポータルを介して、市が提供する健康関連情報等を受け取ることもできる。

○ 市は、今後、母子健康情報サービス等との連携を図ることにより、健康ポータルの利便性を向上させることを目指している。



【参考情報①】 人口：4.7万人
関連URL：
https://www.city.nankoku.lg.jp/life/life_dtl.php?hdnKey=6406（市HP）

【参考情報②】平成28年度「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」（総務省）とは
URL：https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000184.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



小中学校では食育に力を入れるなど、市民の健康への関心は高いにもかかわらず、本市における一人当たり医療費が高いという課題がありました。そこで、市民の健康への関心を更に高めるため、健康に関する情報や、自分の服薬情報をスマホを持たない高齢者にも身近なテレビで提供することができる仕組みを導入することにしました。

（南国市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



ポータルサイトを構築し、利用者の自宅のテレビとポータルサイトのサーバー間で通信をする「民間のお薬手帳との認証連携」の仕組みの構築に当たって、総務省のICTまち・ひと・しごと創生推進事業（平成28年度）を活用しました。



住民の反応（声）はいかがですか？



市内の会員型のスポーツクラブを運営するNPO法人との連携で、同法人が主催する運動サークル等の動画を健康ポータル上で流していますが、コロナで集まりに参加できなくなった方が自宅で運動を続けられたと好評でした。

★担当：南国市 保健福祉センター★

令和3年度事業費　2,904千円